



前期研修会にて（姫路城大天守修理現場）

会報

全国文化財壁技術保存会

第 12 号

平成二十四(2012)年三月三十日発行
編集 全国文化財壁技術保存会
事務局 愛知県江南市力長町 大当寺二二八
TEL (〇五八七) 五九一八〇〇〇

会長 佐藤治男



昨年三月十一日の東北大震災で被害に遭われた方に謹んでお見舞い申し上げます。又、不幸にして亡くなられた方に謹んでお悔やみ申し上げます。

この震災に於いて文化財建造物も数多く被害に遭っているよう聞いておりました。五月に東京へ行く機会があり、その際見せて頂いた被害状況を写した写真の一枚に、数年前に修復し

た指定建物の一面が柱を除いてそのままの姿で地表に倒れているものがありました。それには、私たちにとっては考えられないような工法が使われており、作業をした左官職人やゼネコンの担当者は保存のための左官仕事がわかつていないのでないかと思えるものでした。幸い、東北地方には当会の会員はおられませんが、それぞれ地元の方に伝統的な左官工法で我々と共に文化財建造物の修復を行って頂きたく思います。

今年は例年姫路市と共に催していきます夏休み子供体験会が中止になり残念です。また何時か皆様方と共に復活するようお願い致します。

八月末に二十三年度の伝承者の研修会が姫路市立城郭研究室で始まり、文化財行政の先生方に我々文化財保存工事に携わる左官技能士としての心構えを学

ばせて頂きました。引き続き工具(鎧)がいかに造られているかということを三木市の鎧鍛冶作業所の見学、堺市の坊工場を見学(北正商店で大変良質な坊類を作つておられます)致しました。その後京都へ移動、京都府文化財保護課の先生による京都府の文化財行政についての講話、又現在工事中の小川邸(二条陣屋)の現場見学を経て滋賀県に移動、会員の津田左官にて版築、三和土の工法の実技を勉強し、下地に使用する竹のことについて学びました。

十月一、二日名古屋市にて行われた文化庁主催の伝統の名匠展が行われ、当会も参加しました。今年は会場が大都市の中心部であったこともあり、例年と異なり多数の見学者が集まり大盛況であったと思っております。

開セミナーと京都府文化財保護課修理現場公開セミナーとが同じ場所で同時に開かれました。当日は雨天でしたが、大変な人出で大いに盛り上りました。私たち壁保存会の体験実技は、漆喰や土壁を使用すると体が汚れて迷惑と考え、例年竹木舞を繰り返し行つてきましたが、来年からはほかの団体と事前に協議を行つて見学者が喜ぶ事業を行つたらと考えております。

引き続いて秋の研修会を開催しました。京都と滋賀大津で伝統建築技術保存会会長の西澤氏と伝統的瓦技術保存会会長山本氏の永年現場を歩んでこられ経験を積んでこられた先生の講話を頂き、研修生一同肝に銘じたことと思っています。



副会長 安達保信

います。又伝統的な工法で左官ば形になると実感したことでしょう。引き続き、竹木舞の縄かけで厚壁用の種々の編み方の研修を行いました。また、滋賀県の文化財保護課の池野先生に県内の文化財の現況についての講話をいただきました。さらに石垣穴太衆の家元、栗田氏の代々に渡る各地の石垣を築くお話を聞くことが出来ました。又、当会の会員が施工している石山寺、湖東三山の一つ西明寺、彦根城の見学並びに江戸時代の作事方と伝統的瓦技術保存会会長山本を行いました。

く会員一同が認識し、活動に表現しなければならないところであります。当会の今後は、伝承技能者の養成研修事業と共に、皆が生活の安定が出来る仕事量の確保が大問題であります。指定文化財建造物以外の、登録文化財等に準じる建造物の修理にも我々が携われるよう関係各位様にも御配慮をお願いするものです。

会の今後は、①減少してゆく材料確保の問題として、生産業者と一致協力して廃業に至らないよう種々方策を講じること ②左官道具についても製造業者と協力して鏝等製品確保及び品質維持にも努めて頂き、我々も購入して、継続してもらわないと将来が成り立たないでしよう

③そして現在の研修内容の充実として、一段階上の中級試験なども行い、研修生の意欲も増進したいところです。参加者の経済的負担も軽減して、参加しや

すい環境を整える努力も必要であります。また、実習道具架材の充実という課題もあります。
④一方事業主の立場から、仕事量の少ない時代ながら先行投資の意識で、若者の雇用に積極的に取り組み、文化財の長期保存に応えなければならぬでしょう。それには会員の増加を図り、活力ある組織にしたいものです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



津田誠一さん 文化庁長官表彰、 滋賀県文化功労賞を受賞

翌月の十二月二十日には文化庁より文化庁長官表彰といった名譽な賞を賜り、心より感謝いたしております。この度の受賞は、私が頂くに値するのか大変恐縮致しておる処でございましたが、お受けすることにより御世話をなった皆様方への感謝の気持ちを表すことが出来るのであればとお受けいたした次第でござります。これも全国文化財壁技術保存会の会員に加えて頂き、日本全国といった広い視野から改めて勉強させて頂いた賜物と認識しております。

これもひとえに会長様を始め、皆様方のご指導と文化財関係の御先生方のお陰と厚く御礼申し上げる次第でございます。これからも、左官技術の継承と業界の振興、文化財の保護に僅かなりともお役に立ちますよう、更なる精進を重ねて行く所存でございます。

第19期（平成23年度） 総会及び研修会

平成23年5月16日に姫路市で第19期定期総会と研修会を開催しました。来賓には、(社)全国国宝重要文化財所有者連盟事務局長の後藤佐雅夫様、兵庫県教育員会文化財室長の村上裕道様、姫路市立城郭研究室長の上田耕三様にご主席を頂きました。平成22年度の事業報告及び収支報告、23年度の事業計画及び収支

何卒これまでと相変わらぬ御指導を賜りますようお願い申し上げます。

津田さんは、多年に渡って文化振興に特に顕著な功績が認められ受賞されました。長年のご努力に敬意を表しますとともに、本会会員の受賞を誇りに嬉しく思います。本当におめでとうございます。

予算案の審議行い、原案のとおり承認されました。

文化庁の主催により、平成 23 年 10 月 1・2 日、名古屋市で開催されました。本会は展示や来場者への木舞かき体験を行いました。また本会幹事の中嶋正雄氏が「文化財建造物を支える伝統的な左官技術」をテーマに発表を行いました。

文化財保存技術 文化財を支える伝統の名匠 2011



総会の開催



木舞かき体験



発表

文化財壁技術の継承を図るため「左官（日本壁）伝承者養成基礎講座」を、7名の研修生で行いました。前期は8月22日～27日で、武内正和文化庁文化財調査官、全文連事務局長の後藤佐雅夫様、岡山理科大学の江面先生の講義を受けました。

伝承者養成技術研修

平成 23 年 11 月 5 ～ 6 日、清水寺にて「文化財建造物保存活用公開セミナーと京都府文化財保護課修理現場公開セミナー」が開催されました。本会は左官材料や活動展示を行いました。会場には多くの皆様にお越しいただき、伝統技術の理解を深めいたたく機会となりました。

文化財建造物保存活用、 京都府文化財保護課 修理現場公開セミナー



姫路城大天守最上階

現場を見学しました。また三木市の鍛製造、堺市の刃物製造工場、大津市では下地竹を見学しました。京都では二條陣屋を見学しました。実技は、津田左官工業所にて土間タタキを行いました。後期は、11月7日～12日、壁土の製造見学、伝統大工、伝統瓦製作の講義、京都府の文化財行政の講義を受けました。また大津市坂本付近の伝統石積みを見学しました。さらに実技研修として木舞搔きを行いました。



研修受講生



講 義



織づくり



講 義



実技 – 三和土



筋づくり



実技 – 土取り



実技 – 版築



実技 – 土練り



実技 – 版築



前期研修会



材料見学 – 竹



後期研修会



実技 – 木舞搔き

後期におきましては、建築現場で一緒に作業を行う他の職種、大工、石屋、瓦屋との左官の関係で、一緒に作業を行いました。また、後期におきましては、建築現

前期後期の研修を通して貴重な経験、体験をさせて頂き本当に有り難うございました。前期では文化財の在り方、必要性について講義をして頂き、改めて文化財に対する興味がわきました。また実技として体験させて頂いた、版築・三和土につきましても、普段ではなかなか作業する機会がないため、貴重な体験になりました。またこの方法は、材料の練り方、ねばさ、さくさ等の左官工事にもつながる点が多くあり、現在の工法にも息づいているのだなと感じました。

◆足立 純

研修を終えて
平成23年度研修生の感想

わりについて勉強させて頂き、お互いが協力し合って建物が出来るという事と、お互いの仕事を理解しあわなければならないという事を改めて感じ取りました。実技である木舞搔きについては、竹の選定、割り方、搔き方まで丁寧にご指導して頂きました。今後木舞を搔く際には、どうすれば強く、頑丈になるかという事を念頭に置き、教わった搔き方をもとに自分流の搔き方を考察していきたいと思います。

最後になりましたが、今回の研修で学んだことを、ここで終わりにせず、今後の左官工事に活かし広めていければと思います。本当に有り難うございました。

(足立組)

この度、左官養成技術研修会に参加させていただきました。

◆柏尾 浩司

今回の研修では、講師の方々、研修生達の仕事に対する意識の高さを感じ、すごく刺激を受けました。自分はまだ左官の経験は少なく、今から覚えていかなければならぬことも山ほどあります。皆さんに負けじと技術や知識を身に着けていきたいと思っています。親切、丁寧に指導してくださった先生方ありがとうございました。

(株山脇組)

◆小島 徹也

前期、姫路では姫路城の現場で漆喰の状態などを見せて頂きました。三和土（タタキ）、版築の実技練習では最初に材料の配合の割合や練り加減を教えて頂きました。その後、三和土の実技では敷き厚みやたたき加減、三和土の仕上げの種類を習い、版築の実技では突き加減や積み上げ方、そして継ぎ手の直し方などを教えて頂きました。

最後になりましたが研修期間中お世話になった講師の先生方ありがとうございました。

(有津田左官工業所)

今回は、伝承者養成研修会という貴重な機会をあたえて頂き、ありがとうございました。

前期は、文化財に関する基礎的な知識の講義と、文化財の工事に対する心構え等を勉強させ

後期、津田左官工業所では、竹の割り方、木舞かき、男結び、藁繩の作り方、荒壁土の練り加減などを教わりました。前期、後期とも様々な場所を見学させて頂き、左官業以外の職種の先生方からも講義をお聞きすることができて大変勉強になりました。これから仕事に生かしていきたいと思います。自分は左官職人としてはまだまだですが、この研修で習った事を現場で生かしながら頑張りたいと思います。

後期は、左官以外の職人さんの仕事について細かく話を聞かせていただきました。特に僕自身は穴太衆の石積みの話が大変おもしろく、石積みの難しさや、見た目の美しさに大変興味を抱きました。外に出かけた際に、石垣等があると見るようになり、また別の視点から建築を見られるようになりました。

実技の木舞搔きでは、すぐに現場で生かせる技がたくさんありました。普段の仕事ではなかなか学ぶ機会のない事なので、とてもよい機会でした。今後の仕事にもぜひ生かしていただきたいと思いました。

実技では、三和土と版築を学びました。その後東京に戻つてすぐに、たまたま三和土の仕事があり、すぐに役立てることができました。この講習で習ったことを生かし、現場ではうまくできたと思っています。

後期は、左官以外の職人さんの仕事について細かく話を聞かせていただきました。特に僕自身は穴太衆の石積みの話が大変おもしろく、石積みの難しさや、見た目の美しさに大変興味を抱きました。外に出かけた際に、石垣等があると見るようになり、また別の視点から建築を見られるようになりました。

実技の木舞搔きでは、すぐに現場で生かせる技がたくさんありました。普段の仕事ではなかなか学ぶ機会のない事なので、とてもよい機会でした。今後の仕事にもぜひ生かしていただきたいと思いました。

以外にも、講義の合間にさりげなく教えて頂いた、縄の編み方や藁の扱い方等々、講師の皆さん知識の豊富さに驚きました。時間が足りずにできなかつた作業もあり、それは残念でした。

大変に良い機会を与えて頂いたので、これを明日からの仕事にいかし、もっと力をつけて、二年後にまた皆さんにお会いしたいと思います。ありがとうございます。

(株あじま左官工芸)

◆中田一真

この度、選定保存技術左官(日本壁)の研修を受けて大変勉強になりました。

普段の、現場での仕事だけでは覚えられない事や、教えるからえない事など色々と勉強させていただきました。今回の伝承者養成研修会を通して、佐藤会長をはじめ役員、事務局の皆様、ありがとうございました。

若手が少なく仕事が少ない時代に、若い世代の横のつながり、古くから伝わる壁技術の知識的な面、そして左官の仕事の中でも最も必要な技術面、なにからなります。

この研修会は自分にとってす

ごく刺激のある研修会でした。今、自分は未熟ながら姫路城の保存修理工事に携わらせていただいておりますが、前期・後期を通して学んだ事を、資料を通して、姫路城の保存資料にのつとったフィードバックができるよう頑張りたいと思います。

(株イスルギ)

◆野村智広

この度、選定保存技術左官(日本壁)の研修を受けて大変勉強になりました。

心を自分達が継承しようとしているその役割、重みを感じました。

鎌・刃・下地竹・土の各製造現場見学は貴重な体験になりました。晒刃ができるまでの工程では、ジユートの袋を細かく切り、油を抜き、晒して天日干しするまでを実際に見たこと、深草の大龜谷で土が産出されてから粒子の細かい色土になるまで

の工程を見たことなど、日頃感じていたものを知れて嬉しく思います。そして、機械化が進んだ現在でもかなりの部分

が人の手によって、人の感覚によつて作られていることや、それらは各職方に誇りをもつてなされていることを目の当たりにしました。これには日頃使ってゐる材料、道具には沢山の想いが詰まっていることを感じ、文化財修復に携わる者としてより

実技演習で土間三和土、版築を実際に経験できたことは大きな収穫になりました。三和土の材料には土、砂、ビリ、石灰、にがりを使いましたが、土や砂は特に産地や時期によって性質が異なるので、教科書の配合ではできないのが普通です。今回も先生方の長年の経験から感じたなされた配合だと聞きました。

今回の材料作りで感じた感覚的なものを忘れずに、今後また異なる条件での施工の場合に生かせるように、自分のものにしてみたいと思いました。

竹小舞下地の実習では、縄の搔き方一つをとっても各地域でかなりの違いがあるものだと実感しました。一度に数種類の搔き方を勉強したことは、自分のものにするには時間が少なかつたように感じますが、今後の仕事で、下地強度、施工期間、コスト等を考慮した搔き方を自分で考える上では良かったのでは

と感じました。

ないかと思います。

また、他の研修生と交流し、意見交換できたことも勉強になりました。良い刺激になりました。

この度、講義して頂いた先生方、実技指導して頂いた先生方、建材店の方々、大変貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

(佐藤左官工業所)

◆細江 洋平

前期・後期の研修を終えて、色々な事を学ばせていただき有難うございました。

研修に参加した事で、材料がどの様に作られているのかを目にして、触れる事が出来、良い経験をさせていただきました。

三和土の実技では、最初力加減がうまくいかず苦戦しましたが、コツを掴んでからは楽しくなり、夢中になりました。

木舞搔きでは、今まで知つて

いた藁縄の編み方以外にも様々

な編み方を教わりました。特に

男結びでは親指・人差し指でしつかり持つていないと、しっかりと

とした男結びが出来ないので中々

うまく結べなかったのですが、

とても良い経験が出来ました。

講義では、文化財建造物に対

する思い・姿勢・考え方を今以

上に知る事ができ、とても良かつたです。

他の研修生とも色々な話がで

き、各地方での施工などが聞け

てとても勉強になりました。そ

れを活かし、知識・技術とともに

今の自分のレベルからもっとス

キルアップしていきたいです。

そしてこれからも、もっと勉強

し心構えを大切にし、日々左官

職人として恥ない仕事をしていきたいと思います。

最後に講師していただいた先

生方、貴重なお話を有難うござ

いました。役員の皆様、研修生

の皆様有難うございました。

(中島左官(㈱))

ていく為に、しっかりとバックアップできるよう精進していく

たいです。

事務局員から

(港 友里恵)

事務員として仕事を任せてい

ただいてから1年が経ちました。

未熟ながら、仕事に慣れ、こな

せるようになってきたのも、役

員・会員の皆様、また、関係者

の皆様のお力添えによるもので

あると感謝しております。

事務仕事とは、机の前に座り

黙々と書類を作るというイメー

ジしかありませんでしたので、

研修への参加や、総会・役員会

に出席させていただくことで、

様々な方にお会いしお話を聞け

たことが、非常に印象深いです。

今後、日本の伝統建築や文化

財の保存を担う左官という仕事

は、より重要さを増していくだ

ろうと思います。ですから私も、

職人の皆さんのお仕事の枠が拡

編集だより

前会長の奥井五十吉様が永眠されました。長年のご尽力に感

謝を申し上げ、ご冥福をお祈り

いたします。

研修生の皆さんからは貴重な

感想やご意見をいただきました。

津田さんの嬉しい受賞、初めて

の事務員の思いなど、多種な情

報や思いをお寄せいただき、多

様な紙面になつたことに感謝で

す。事務局の港様には大変ご尽

力を頂きましたことに、改めて

御礼申し上げます。

(編集事務局)

姫路市立城郭研究室 上田耕三、
事務局 中嶋正雄)

会 員 名 簿

	会員名	住 所	事業所名等
正 会 員	佐藤治男	京都市左京区下鴨南茶ノ木町 23-4	左官業 佐藤
	安達保信	京都市下京区花屋町通り間の町西入る天神町 411-2	(有) 安達左官店
	中嶋正雄	愛知県江南市力長町大当寺 128	中島左官(株)
	田代益市	京都市下京区猪熊通り塩小路下がる上夷町 165	(有) 田代千治店
	石田貞男	さぬき市大川町富田中 2147	石田左官工業
	小林錦四郎	和歌山県有田郡湯浅町湯浅 2132-17	小林左官店
	津田誠一	大津市下坂本 1 丁目 20-22	(有) 津田左官工業所
	山脇一夫	姫路市飯田 1-24	(株) 山脇組
	浅原雄三	京都市山科区大宅沢町 185	しつくい浅原
	梅川由紀子	京都市右京区西京極午塚町 58-1	梅川建設(株)
	片田儀斎	京都市上京区西洞院中立売下がる菊屋町 3315	片田儀斎営業所
	本田俊之	大阪府八尾市刑部 4-270	本田左官工業所
	松本勉	高知県安芸市井ノ口乙 1202-3	(有) 左官 松本組
	阿嶋一浩	東京都葛飾区青戸 8 丁目 19-11	(株) あじま左官工芸
	小迫傳	鹿児島県出水郡長島蔵之元 3246 の 1	小迫左官
準 会 員	足立三喜男	兵庫県三木市緑が丘町東 1-3-4	足立組
	石動信明	石川県金沢市神田 1 丁目 31 番 1 号	(株) イスルギ
	桑路丸幸	兵庫県神崎郡市川町沢 115-2	桑路建塗(株)
	小林常司	京都市中京区東洞院蛸薬師下る元竹田町 639-11	左司
賛 助 会 員	北野一成	大阪府堺市中央区深井北町 104-2	(株) 北正商店
	中内庸司	京都市上京区浄福寺中立売上る東西俵屋町 157	中内建材店
	宮谷邦夫	兵庫県三木市別所町朝日ヶ丘 35 番地の 69	宮谷製作所
	村樫太郎	栃木県佐野市宮下町 1 番 10 号	村樫石灰工業(株)
	吉田鐵太郎	千葉県いすみ市岩船 196	(株) 吉田鉄五郎商店

